|  |  |
| --- | --- |
| 現代文2018年度  第1回　　「　『山椒魚』を読んで、自分が何を感じたのか言語化しよう　」 | 作成者：多比良&濱部  実施日：2018.10.18  　　　　　　　　(木曜日) |

**基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 【単元の目的】  生徒が、  ①小説に対して様々な解釈を認め、  ②自分なりの読む楽しさに納得感を持つ　　ようになる。  【今回の授業のねらい】＊単元の目的達成のために、今回はどんな学びを生み出したいのか？  　　　　　　　　　　　＊各回のステップ( ⅰ)~ⅵ)で表していたもの)をもとに入れてください！  ・ストーリーの全体像をつかむ  ・自分が何を感じたのかを言語化する（自分の解釈をもつ）  対象者（生徒・クラスの現状予想。テーマへの関心など。）  ＊以下は、単元の目的や今回の授業で取り組むことの視点を踏まえて書きましょう！  生徒の現状  ・本文を読んで、内容を読み取る力はもともとついている。(先生より)  クラスの雰囲気  ・普段、先生からの問いかけ、呼びかけへの反応は良い。  ・大人数なので一人一人に指示は届きづらい  テーマへの関心  生徒の自発的な関心はないと思われる。 | 【今回の目標】　＊今回の授業のねらいを達成するには、生徒が何を完了すれば良いのか？  (1)『山椒魚』の物語の展開を理解できる。  (2)物語中の山椒魚の気持ちの変化について、自分なりの考察ができる。  (2)初めて読んだ感想を自分の視点で書くことができる。  評価の観点と方法（目標と対応するように）  ＊完了度合いを何で測るのか？何をもって完了と見なすか？  (1)ワークシート①(読解シート)上の各場面において「山椒魚のキーとなる考えや行動」を埋めることができている。  (2)ワークシート①(読解シート)上の各場面において「山椒魚がそのように考えた・行動した理由」を埋めることができている。  (3)振り返りの欄に、初発の感想が書けている。  準備物など  PC  ワークシート①(読解シート)  単語シート  その他 |

**タイムライン（計　35　/ 　40　分）**。＊曜日によって持てる時間が変わるので注意！　(月金土:45分　木:40分)

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 構成 | 時間（分） | 活動内容 | 各活動のねらい | 予想される生徒の様子 | 大学生の対応 | 備考 |
| 導入 | ５分 | ・当日の大学生の自己紹介、  ・これから5回にわたって『山椒魚』を扱っていくことを説明 | ”大学生の授業”に興味をもつ。  これから行うことの目的と内容を理解する | 大学生の話を聞く | それぞれ簡単に自己紹介 | 今後のスタッフ全員を含めた紹介シートを配布  第一回～第五回の各回の流れについて簡単に説明 |
| 山椒魚の気持ちワーク | 25分 | 本文読解、ワークシート  その状況における山椒魚の  ・表情  ・山椒魚の気持ち  ・山椒魚の行動  **合計6場面。**１場面**4分**として**24分**  ①「なんたる失策！でも大丈夫」(見栄)  ②小魚を嘲笑(ただバカにする)  ③小エビを見て一念発起(からの絶望)  ④目を閉じてみた(現実逃避を試みる)  ⑤蛙出現→閉じ込めた(自分の存在確認のため)  ⑥嘆息、もうだめなようだ(友情・共感嬉しい) | 物語の展開を理解する。  山椒魚の気持ちの変化を考える。  ＊ストーリー展開は全員きちんと読み取りができていること  ＝「キーとなる考えや行動」はほぼ同じ内容が書かれている  ＊山椒魚の気持ちの変化の捉え方、表現の仕方は十人十色であること  ＝「そのように考えた・行動した理由」は”自分なりの読み”が反映されている  この2点が大事 | ワークシートを順次埋めていく。  例年、とてつもないスピードで読み終わる生徒と、反対にすごく時間をかけて理解しながら読む生徒がいる。  ・「キーとなる考えや行動」は本文の展開を抜き出して書く。  「そのように考えた・行動した理由」は”自分なりの読み”に繋がってくるとことなので、それぞれが思ったことを書く。＊次回以降に使うのはこっち！ | ・（分からなくとも）何か書くことを徹底させる。  →進度のゆっくりな生徒は大学生の目をできるだけ多くして、シートの様子をチェックしておく。物語の展開における要点(「キーとなる考えや行動」)が抜き出せていれば〇とする。  要点がつかめていなければ、そこの本文と前後の展開だけでも一緒に確認する。  ・早くワークシートが終わってしまった生徒には、回っている大学生が話しかけながら「そのように考えた・行動した理由」の欄を深めていく。 | ・難単語、難表現の解説シートを配布  読みの進度・理解の進度がゆっくりな生徒を把握しておく。  例)「本文のどこからそう思った？」  「山椒魚ってどんな性格のヤツだと思った？」  「全体を読んでみて登場人物の理解しがたい言動とかあった？」など |
| 振り返り  今日のまとめ | 5分 | 初読で感じたことをワークシートに書いてもらう。（物語全体を通しての感想）  今日のまとめ  次回以降の予告 | 感想を言語化する | シートの振り返りの欄を埋める | 机間巡視 | ワークシートは一旦すべて回収。  →読解シートは次回授業時に返却。難単語、難表現シートは生徒にあげる |